

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	6 款 3 項 2 目	事業番号	3010	所属長名	鍋田豊樹
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	大塚直人	
法令根拠等	漁業近代化資金利子補給に関する条例及び同施行規則				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 持続的な林業・水産業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	漁業経営の安定化						
事業の対象	漁業者及び組織団体 (漁業協同組合)			事業の目的	漁業者及び漁業団体に対し、低金利の融資を円滑に実施する措置を講じ、漁業経営の近代化と合理化を図り漁業の振興に資する。		
事業の内容 (整備内容)	条例に基づき、漁業協同組合を通じて、漁船の新造船、機関の取替え等に必要な近代化資金を借り受けた漁業者に対し1%の利子補給を実施している。			評価事業としないこととした理由	義務的な事務事業であるため。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	46	375	0	0	0	116	利子補給金	千円	46	375	0	116
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	46	375	0	0	0	116						
職員の人工 (にんく) 数	0.12	0.12				0.12						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	987	1,310				1,051						
主な実施主体	漁業者、漁協		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		利子補給金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計		
					400	400	400	400	400	2,000		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	漁業近代化を推進するための資金融資を受けた漁業者に対する利子補給を行い漁業経営の安定化を図った。さらに、上灘漁港漁船火災により被害を受けた漁業者に対し農林漁業セーフティネット資金の利用を円滑にするため利子補給を行い漁業者の復旧を支援した。	
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 本事業は金融機関等との契約に基づく請求に基づき利子補給を行う裁量のない事務事業であり、効果的な執行に努めるのみであることから評価事業とはしないが、漁業者の資金調達等、その効用は認められるため継続と判断する。